

キビタンの
わかる県政



ふくしまの希望を描く動画 「MIRAI2061」

震災から50年後のふくしまを舞台にした短編ミュージカル映画を公開中！
2061年、おばあちゃんから娘へ、そして孫へと命が受け継がれる中、変わっていくこと、
変わらずに紡がれていくものを表現しています。



あらすじ

時は2061年。ひかりが孫娘のみらいと散歩にきたのは福島を代表する憩の丘。時代の進化に、ひかりは改めて感心しながらも、あのころから50年の間に起こったさまざまな変化に想いを馳せる。ひかりはこの時代のホログラムARシステムを使って、ちょうど50年前の若いころの姿になった。そして、優しく歌うように昔話を始める……



劇中歌の歌詞

みらいはすこしふしぎ

あたりまえのこと
でもちょっと
わたしにとって
みらいはすこし・ふしぎ

失われてしまった
たくさんの光
見えないものに駆られた不安
どうしたらいいか分からなかった
人と人

お酒とお寿司が大好きな
弱さを知ってる強い人
そしてあなたのお母さんが
生まれたの

あたりまえのこと
でもちょっと
わたしにとって
みらいはすこし・ふしぎ

事実を見つめて知識を備えて
助け合い支え合った日々
前を向いて溝を埋めた
人と人

パンとカフェオレが大好きな
弱さを知ってる強い人
そしてかわいいあなたが生まれたの

みらいはすこしふしぎ
みらいはすこしふしぎ

明日は来ないかもしれない
そう思いながら大事に大事に
一日を歩いて来た人と人

明日浜通りに吹いた風が
中通り通り会津地方へ
昨日笑った笑顔が
今日通り越してまた明日へ
私今日もここで笑ってる
おばあちゃんがくれたカフェオレとお菓子
ママも踊る様に歩む毎日
2人の未来に揺られ一緒に笑ってる

お寿司とカフェオレが大好きな
おばあちゃんの大事な孫娘
あのときのわたしに似ている

あの歌、おしえてあげたいな
わたしを笑顔にしてくれた歌
ねえいっしょに歌いましょ

ララララ ララ
ララララ ララララ
ララララ ラララララ
ララララ ララ
ララララ ララララ～

ララララ ララ
ララララ ララララ
あなたはすこし・ふしぎ
ララララ ララ
ララララ ララララ
みらいはすこし・ふしぎ ※3回繰り返し

登場人物相関図



監修 筋内 道彦さん (福島県クリエイティブディレクター)

人間には、未来を作る力があります。そしてその力は、優しく、強く、驚くほど果てしない。この作品が描く世界は、ファンタジーでもフィクションでもありません。大切な思いを繋ぐ、健やかな命のリレーが、それぞれの日常を歩む先に存在する、穏やかな「普通」。泣いて、微笑んで。この作品を、一人でも多くの方が観てくださいますように。

監督・演出 児玉 裕一さん

みらいはきっと あっけらかんとやってきます、こんなふうに。

MIRAI2061特設サイト公開中!

本編ストーリーのほか、メイキング動画などもご覧いただけます。

県庁広報課 ☎024(521)7124

MIRAI2061

検索

